

東京電力による柏崎刈羽原発の再稼働に反対する

東京電力は、能登半島地震による液状化が広範囲に発生した新潟県において、柏崎刈羽原発の再稼働に向けた準備を加速させています。そもそも柏崎刈羽原発は、核物質防護上の規定違反が再三発生し、東電の企業体質が問題視され「運転禁止命令」が発出されていた原発です。

昨年、規制委員会が命令を解除した以降、「GX原発推進法」を成立させた岸田政権の意を汲んだ経産大臣は、再稼働への理解を求めるため首長に直接要請し、立地自治体の判断に圧力を加えています。また、田中俊一初代原子力規制委員長に至っては、能登地震発生後の3月に柏崎市に出向き300名の市民を前に「福島原発事故では健康被害は確認されていない。関連死を出さない対策として施設や自宅にとどまる屋内退避を」と発言。住民の怒りを招いています。

福島第一原発事故の原因究明も、収束に向けた廃炉工程も明らかにせず、汚染水を流し続ける東電に原発を動かす資格はない。東電の電気を使っている私たち首都圏市民が今、声をあげ行動する時です。

柏崎刈羽原発の再稼働を許さない！首都圏行動実行委員会

柏崎刈羽原発の使用済み核燃料のむつへの搬出に反対する

使用済み核燃料中間貯蔵施設を運営する「リサイクル燃料貯蔵株」が3月27日、青森県庁やむつ市役所を訪れ、2024年度から3年分の貯蔵計画を示しました。これによると事業開始時期を今年7～9月とし、使用済み核燃料容器を年度内に1基、翌年度に2基、翌々年度に5基の計8基を新潟県柏崎刈羽原子力発電所から運び入れるとのこと。

再処理事業は絶望的で行く先を持たないまま、この地に使用済み核燃料を搬入することは取りも直さず永久的に貯蔵されることとなることは必至です。

また、この事業がスタートすることは全国の老朽化原発の再稼働に油を注ぐことになり、原発事故のリスクを一層大きなものとするにつながります。今こそ声を張り上げ搬入反対を叫びましょう！

むつ中間貯蔵・使用済み核燃料搬入反対現地実行委員会 <5.19 むつ現地集会呼びかけピラより転載>

《柏崎刈羽原発の再稼働を許さない！首都圏行動》への賛同をお願いします
賛同団体・個人を募っています。
ご協力をお願いします。

【賛同カンパ送り先】

口座名：再稼働阻止全国ネットワーク
ゆうちょ銀行(019店) 振込口座
00110-0-688699

「東電抗議」と明記

【連絡 問い合わせ先】

再稼働阻止全国ネットワーク事務局
info@saikadososhinet.sakura.ne.jp
(担当:沼倉 080-1012-4661)

東京電力に抗議の声を上げ続けよう！
「東電本店合同抗議」にご参加願います
毎月第1水曜日 18:45～19:45
場所 東京電力本店前

<よびかけ>

経産省前テントひろば/たんぼぼ舎
賛同：東電株主代表訴訟など141団体

防潮堤欠陥工事の東海第二原発は廃炉に！
毎月第1水曜日 17:00～18:00は
日本原電本店抗議です。

場所 日本原電本店前

JR秋葉原駅6分(台東区上野5-2-1)
主催：「とめよう！東海第二原発首都圏連絡会」